



伊丹市マスコット たみまる

2023(令和5)年1月15日 第1486号 毎月1・15日発行

広報

伊丹



この号の主な内容

- 2面 郵便局でもできるマイナンバーカード申請
- 3面 男女共同参画市民オンブード報告書を提出
- 4面 確定申告会場が変わります
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●197,037(-439) 世帯数●83,618(+746)
 2023年1月1日推計 ()は前年1月1日比
 発行・伊丹市広報・シティプロモーション課
 市ホームページ

〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 ☎072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報・シティプロモーション課) ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>

阪神・淡路大震災から28年

今一度！災害への備え総点検を！！

平成7年1月17日午前5時46分に発生した阪神・淡路大震災から今年で28年を迎えます。あらためて震災当時を振り返り、今後いつ起こるか分からない大規模災害に備え、今できることを確認しておきましょう。問い合わせは市危機管理室☎784-8166へ。



被災した阪急伊丹駅

次の災害に備える

南海トラフを震源とする巨大地震が今後30年以内に70〜80％、40年以内では90％の確率で発生し、本市では最大で震度6弱の強い揺れに襲われると想定されています。

地域防災計画では、本市で震度7程度の地震が発生した場合、避難者は阪神・淡路大震災の約2倍、犠牲者は約23倍と想定されています。

我が家の地震対策

阪神・淡路大震災で亡くなった人の大部分は建物や家具などの下敷きによる「圧死」でした。家具などの転倒や落下を防止することが人命を守るためには最も重要です。

◆家具を固定する

地震による家具や家電などの転倒・落下が大きな被害をもたらします。家の中をチェックし

簡単にできることから始めましょう。

自分でできる家具の転倒・落下防止策は▽突っ張り棒やL型金具などで家具を固定する▽扉が開き収納物が落下しないよう開放防止留め具などを設置する▽テレビなどはベルトや粘着性マットで固定する▽窓ガラスやガラス製扉には飛散防止フィルムを貼る▽吊り下げ照明はワイヤーなどで補強する―など。

◆家具の配置を考える

収納や配置の方法は▽寝室には就寝中に倒れた家具の下敷きにならないよう、大きな家具は置かない▽出入り口や通路に物を置かない▽家具の少ない安全なスペースを作る▽家具を安定させるために重いものは下へ、軽いものは上へ収納する―など。

◆非常備蓄品を準備する

大規模災害が発生するとライフラインや道路の寸断などで流通機能がストップする恐れがあります。最低でも3日、可能であれば1週間分以上の水や食

料、必需品を備えましょう。

非常持出袋の基本的な物品は▽非常食や缶詰、水などの飲料水▽マスクやタオル、ウェットティッシュなどの衛生用品▽懐中電灯やスマートフォンなどの充電器などの電化製品―など。

地震が発生したら

災害が発生した際、一瞬の判断が生死を分けることがあります。防災訓練などを通じて行動パターンを覚え、いざという時に慌てず落ち着いて行動しましょう。

◆地震発生時の行動

▽まずは身の安全を確保▽テーブルや机の下に避難し、揺れが収まるまで待つ▽倒れそうな家具やガラス窓から離れる。

◆地震直後の行動

▽落ち着いてから台所やストーブなどの火元の確認をする▽窓や扉を開け出口を確保する▽ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。

◆地震発生後の行動

▽家屋倒壊の恐れがある場合などは避難所に避難する▽ラジオやテレビ、行政などから正しい情報入手する▽隣近所の安全確認をする▽救護や消火活動に協力する。

◆正しい情報収集にLINE防災アプリの登録を

市は、防災に特化した市公式LINEアカウント「伊丹市防災(下二次元)」から読み取り(可)を運用しています。天気予報や台風・地震などの気象情報、災害時における避難指示や避難所開設などの防災情報を発信するほか、アプリ利用者が災害情報を送信することで、地図上で利用者間での情報共有をすることもできます。ぜひ登録してください。



文化財での消防訓練

市消防局は、県指定文化財のある昆陽寺や市立伊丹ミュージアムなど市内4カ所で消防訓練を行います。

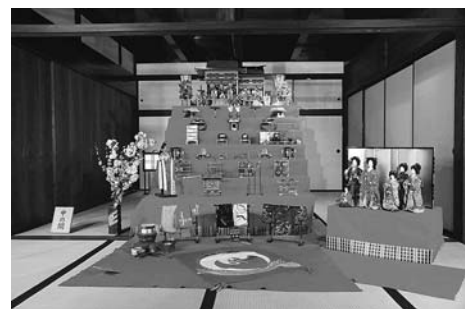
99. 円市消防局予防課☎783・07

文化財防火デー

1月26日(木)は、「第69回文化財防火デー」です。「文化財防火デー」の制定は、昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。

文化庁と消防庁は、同火災の発生と、1・2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、30年に同日を「文化財防火デー」と定めました。

ひなかざり@旧岡田家住宅



2月4日～3月4日、市立伊丹ミュージアム内の旧岡田家住宅で。明治・大正・昭和のひなかざりを展示。無料。

ワークショップ「おやこで作る『つるし雛』」

2月11日(祝)午前10時半、市立伊丹ミュージアム1階の講座室で。講師はハンドクラフト*あみんの古谷康実さん。対象・定員は5歳～小学3年生とその保護者20人。参加料500円(手拭きと持ち帰り用の袋など持参)。1月17日から電話で同館へ。

* 市立伊丹ミュージアム ☎772-5959

田辺聖子の震災記 直筆原稿を展示

1月31日まで、図書館「ことば蔵」で阪神・淡路大震災に関する田辺聖子さんの直筆原稿当



田辺聖子さん直筆原稿

◎田辺聖子の震災記(作家としてあの震災を伝える)1月17日～3月11日、大阪樟蔭女子大田辺聖子文学館(大阪府東大阪市)で連携展示。

* 無料 *
 図書館「ことば蔵」☎783・2775。

水道管の凍結に注意を

急な冷え込みで水道管が凍結することがあります。気温が氷点下になったら要注意。屋外にある水道管や蛇口部分はタオルで巻くなどの対策を。蛇口から少量の水を出し、浴槽にためておく方法も効果的です。凍結した時は、タオルなどをかぶせ、上からぬるま湯をゆっくりと掛けてください。急に熱湯を掛けると破裂することがあります。水道管が破裂したときは、止水栓を閉めて市上下水道局指定給水装置工事業者か上下水道局に連絡を。

市上下水道局水道課 ☎783-1603